

令和6年度月形町全体会計財務状況

重要な3つの指標

純資産比率

67.9%

前期比-7.6pt

判定：良好

純資産比率の減少は将来世代への負担の先送り

資産老朽化率

75.1%

前期比-1.9%

判定：要注意

高いほど将来の近い未来の負担発生の可能性がある

将来世代負担比率

36.1%

前期比+3.6%

判定：警戒

高いほど将来世代の負担する割合が高い

総合評価と分析

資産総額は172.1億円（前期比7.9億円増）となりました。一方、老朽化率は前期比2.5%増と悪化傾向にあり、将来の更新費用が課題です。将来世代負担比率も警戒ライン（40%）に迫っており、投資の厳選が求められます。

バランスの変化（前期比較）

資産（持っているもの）	+15.0億円
資産（将来返済すもの）	+18.4億円
純資産（賞味の財産；資産－負債）	－3.3億円

資産・負債の深掘り分析

資産の内訳（ストック状況）

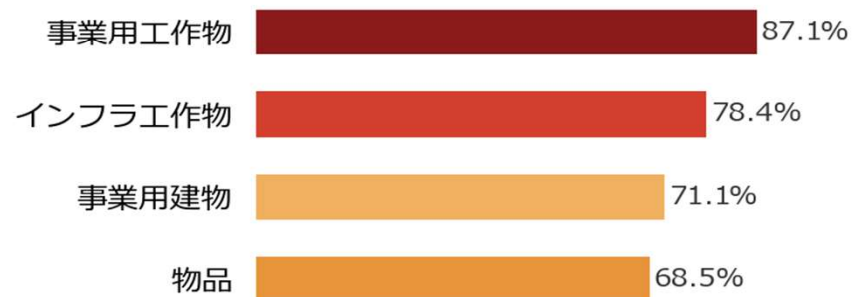
項目	金額（億円）
事業用資産（学校・庁舎等）	76.8
インフラ資産（道路・橋梁等）	47.5
基金（将来のための貯蓄）	47.7
その他	20.3
資産合計	192.3

負債の状況

項目	金額（億円）
地方債残高（長期の借金）	47.3
その他負債（未払金等）	14.7
負債合計	62.0

老朽化のリスク（減価償却率）

耐用年数に対し、資産の価値がどれだけ減少しているかを示します。



住民1人あたりの財務指標



行政サービス運営コスト

1年間の正味行政コスト

54.9億円

運営を賄う総財源

55.6億円

行政コスト対財源比率

97.7%

判定：健全

受益者負担比率

13.6%

適正範囲

住民1人当たり行政コスト

204.0万円

住民負担の目安

コスト分析：対財源比率が100%を下回っており、単年度のサービス費用をその年の収入で賄えています。行政サービス1単位あたりのコスト意識を高めることが重要です。

資金収支と将来への提言

現金の流れ (CF状況)

活動区分	金額
業務活動収支 (日常業務)	+10.3 億円
投資活動収支 (施設整備等)	-18.2 億円
財務活動収支 (借入・返済)	+7.6 億円
当期増減額	-0.2 億円

基礎的財政収支(PB)

-0.6 億円

持続可能な運営に向けた提言



予防保全への完全転換

老朽化率8割に対応し、新規建設から「賢く直す」計画的なメンテナンスに重点を移す。



将来世代負担の適正管理

負担率40%を1つの基準とし、将来の世代に過度な負担を残さないための投資優先順位を考慮する。



受益者負担の適正化点検

人口減少社会におけるサービス維持のため、利用者負担のあり方を社会情勢に合わせた合意形成を。